

「九条の会」が新たなアピールを発表

『集団的自衛権行使による』

『戦争する国』づくりに反対する国民の声を



「九条の会」は10月7日記者会見を行い、よびかけ人5氏の検討を経たアピール「集団的自衛権行使による『戦争する国』づくりに反対する国民の声を」を発表しました。記者会見には呼びかけ人のうち、在京の大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝の3氏が出席し、要旨次のようなコメントをおこないました。

大江健三郎さん

安倍首相は「憲法改正は私の歴史的使命」といつているが、それは彼一人の思い込みで、憲法を変えないで死んだ彼の祖父の岸信介の遺志を引き継ぐうとするものにすぎない。多くの国民の願いではない。

日本はいま、集団的自衛権の行使によって、アメリカにくつついて戦争をする国になるという大きな危険に直面しつつある。私はこの憲法と同じ時代を歩んできたので9条を守ることが自分の生きがいであり、この9条をなし崩し的になくしていくことは許せない。この思いを共有する全国の

「会」のそれぞれの個人が声をあげる必要がある。

奥平康弘さん

現在の政治状況は特異な性格をもちつつある。

「戦後レジームの解体」を掲げる安倍首相らにたいし9条を旗印に平和国家を維持しようとする運動が盛り上がり、たとえば96条先行改憲にみられるように正面からの改憲の動きをいまのところおしとどめている。そのため実質的に憲法「改正」する内容を先取りする動き、集団的自衛権を解釈の変更によって可能とする動きが強められ、それに付随して防衛体制を強化しようとしているが、その突破口として秘密保護法が国会に出されよう

としている。アメリカから秘密保護法がなければわれわれの秘密は守れない、といわれているからだ。

与党が過半数をとっている国会でやれることはやってしまつて憲法「改正」の既成事実をつみあげようという今日の動き

「九条の会」が7日、発表したアピール「集団的自衛権行使による『戦争する国』づくりに反対する国民の声を」は次の通りです。

日本国憲法はいま、大きな試練の時を迎えています。安倍首相は、「憲法改正は私の歴史的使命」と憲法の明文を変えることに強い執念をもち、一方で、歴代内閣の多くでは「許されない」とされてきた集団的自衛権行使に関する憲法解釈を転換し、「戦争する国」をめざして暴走を開始しているからです。

日本が武力攻撃を受けていなくともアメリカといったよに海外で戦争するといふ集団的自衛権の行使が、「必要最小限度の範囲」と

か、日本やアメリカの「防衛」ではなく、日米同盟を「世界全体の安定と繁栄のための公益財」（防衛省「防衛力の在り方検討に関する中間報告」とみなし、世界中のあらゆる地域・国への武力介入をめざす体制

団的自衛権行使を違憲とする政府の憲法解釈を支えてきた内閣法制局長官の入れ替えまでおこなわれました。麻生副総理が学ぶべきと称賛したナチスがワイマール憲法を停止した手口そのものです。これは立憲主義を

より、「海兵隊の機能」や「敵基地攻撃能力」など攻撃的性質をいれだんと強めようとしています。「戦争する国」づくりにも足を踏み入れようとしています。すでに安倍内閣は、防衛・外交に関する情報を

国民から覆い隠し首相に強大な権限を集中する「特定秘密保護法案」や日本版NSC（国家安全保障会議）設置関連法案などを臨時国会に提出しようとしています。自民党が作成した「国家安全保障基本法案」では、

さらにには福島原発事故の無責任と参院、原発技術輸出の問題、その他問題山積の現状があります。戦前、日本国民はすべての抵抗手段を奪われ、ズルズルと侵略戦争の泥沼に巻き込まれていった苦い経験をもっています。しかし、いま日本国民は国政の最高決定権を持つ主権者であり、さらに侵略戦争の教訓を活（い）かした世界にも誇るべき九条を含む日本国憲法をもっています。いまこそ日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、歴史の教訓に背を向ける安倍内閣を草の根からの世論で包囲し、この暴走を阻むための行動にたちあがりましょう。

2013年10月7日
九条の会

集団的自衛権行使に反対
九条の会のアピール

は、何としても阻止しなければならぬ。九条の会は4人を欠いたが、亡くなった4人のやり残したことを考え、今後の運動をおこなっていききたい。憲法9条がこんなにちほどバカにされていたことはない。オスプレイが配備され、海上自衛隊に海兵隊機能をもたせる、米海兵隊がクアムに移転す

るがそれは少しだけで、それも財政負担は日本がする、ニュースを見ている腹が立つことばかり。安倍首相は選挙で勝ったというが、投票率は50%をちょっと超えているだけで、決して多くの国民の支持を得ているわけではない。にもかかわらず衆参で2分の1をとっていることをよいことにやりたい放題というのは許せない。この状況を何とかしても打破したい。